## 東城小学校では、学力フォローアップ校事業に3年間取り組んできました。その取組を紹介します。





一年生児童

国

I語科のI

取組

学習につまずきのある児童に対して、どのような手立てや支援を行っているので すか? また, 学校全体として, どのように取り組んでいますか?

取組



東城小では、児童の実態をもとにつまずきの要因を分析し、それに対 する手立てや支援を考えています。その1つを紹介するよ!

#### 取組前

#### 児童の実態

- 大切なことがどこに書かれているの かを読み取ることが難しい。
- 自分の書きたいことを文に表すこと が難しい。
- ・授業中に意欲的に学習に参加でき ていない時が多い。

#### つまずきの要因

- •平仮名(拗音, 促音). 片仮名. 漢字の定着 が不十分である。
- 語彙が少ない。

# 自分の力で 読み書きを することが できる。

つまずきに対する手立てや支援

#### 取組後

#### 成果

- 平仮名や片仮名、漢字が定着してきており、自分の力で読み取ったり、ワークシートに記入を したり、問題を解いたりすることができるようになってきた。そのため、意欲的に学習に取り組 めるようになった。
- ・誤字脱字はあるものの、自分の書きたいことを短い文章(4文程度)で表すことができるように なってきた。

授業中や放課後に勉強を頑張って続けたからできるようになったと思いま す。分からないことが分かるようになってうれしいです。

放課後の勉強では、まだ習っていないことを先にしているから、勉強がよく 分かってきました。授業中には、前よりも発表できるようになったし、自分で 書けるようにもなってきました。もっと勉強してレベルアップしたいです。









<放課後学習担当教師>

放課後学習頑張りカードに、その日に頑張ったことを全 て記入してシールを貼ることで、自分が頑張った足跡が分 かるようにしました。特に、予習で音読をすることで自信や わくわく感をもつことができ.授業に参加する意欲を高める ことができました。



#### 授業の取組

#### ○語彙の獲得

- 動作化を通してイメージ をふくらませる。
- ・似た意味の言葉を考え たり、他の言葉に置き換 えたりする。
- 実物を見せる。

## 放課後学習の取組

- 〇片仮名カード
- 〇漢字カード 〇予習(音読)
- 〇お楽しみゲーム (学習ゲーム)
- ○頑張りカードの 活用

# 放課後学習頑張りカード

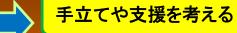


3年間「学力フォローアップ校の取組」を行うことで、 児童のつまずきの要因を考えることの大切さが分か りました。つまずきの要因をもとに職員全体で手立て や支援を考えることで、多くの手立てや支援があるこ とが分かり、児童の理解に応じて準備をすることができ るようになりました。また、他学年との学習のつながり を考えて指導を行うことを意識するようになりました。



<担任>

個別の指導計画作成 児童の実態の共有 つまずきの要因分析





#### 日々の授業実施 研究授業

- 手立てや支援の実施
- ・児童の見取り

#### 教師の理解の深まり

### 手立てや支援の検証

- 授業についての授業者 の振り返り
- •授業記録
- ・同僚との対話
- ・教材に関する情報交換
- ・知識の共有
- ・ 事後研修での協議

その他の実践事例, 学習指導案 をホームページに掲載しています。 下記アドレスまたはQRコードより アクセスしてください。



http://www.syobara-tojoe.hiroshima-c.ed.jp/





授業研究では、全職員で事前に児童の実態を共有することで、多面的な分 析となり、手立てや支援を検討することができます。そして、担任がその児童に とって最適な手立てや支援を実行していきます。



具体的な手立てや支援を行った場合は、記録に残したり職員同士で相談をし たりして、次の授業に活かしていきます。